



帰国研修員便り

【アクションプランの実現】



2017年度「和食ビジネス振興」コースに参加したエイホ真由美さん（チリ）から和洋菓子のカフェスイーツ開店の便りが届きました。

- 1) コースリーダー : 三木 義男
- 2) 帰国研修員 : エイホ常川真由美イグナシア（チリから参加）
- 3) 研修コース : 2017年度 和食ビジネス振興

2018年11月26日

（公財）北九州国際技術協力協会 研修部

JICA/KITA 技術研修に参加したエイホ真由美さん（チリ帰国研修員）からカフェスイーツ開店の嬉しい便りが届きました。

今回紹介する帰国研修員便りは、2017 年度：「和食ビジネス振興」コースに参加したエイホ真由美さんから帰国後のアクションプラン実現の便りです。三木コースリーダーよりメッセージを頂きました。

1. 今回レポートが届いた帰国研修員の紹介

名前 (通称)	写真	氏名	国名	KITA 研修期間
真由美さん		エイホ常川真由美 イグナシア	チリ	2017/11/13 ~ 2017/11/29

エイホ真由美さんのプロフィール

1) 日系所属団体

- ・サンティアゴ中央日本人会の青年会で活躍。

2) 現職・計画

- ・実家の茶道喫茶を兼ねた和菓子店の経営や大手ホテルとの取引を計画中



チリ国の概要

南太平洋に面しているチリは、南北約 4500km の国土を持つ細長い国です。北は赤道近くから南は南極の入り口までという領土の中で、北部には砂漠地帯、中央部には農業地帯、その南には森と湖がある湖水地帯となっています。アルゼンチンとの国境にはアンデス山脈がそびえ、標高 6000m 級の山々が多く連なり、モアイ像で有名なあのイースター島もチリの領土です。

2. 参加研修員の皆さん



世界各国から派遣された研修員（6名）の皆さんは、北九州市（JICA九州）に集まり、「和食ビジネス振興」について勉強しました。

3. 三木コースリーダーよりメッセージ



2014年3月に実施した【JICA 日系研修の帰国研修員フォローアップ】でブラジルへ訪問した時、「世界的には和食ブームと言っていますが、ブラジルではその実感がありません」との帰国研修員の意見をヒントにして、2016年度から「和食ビジネス振興コース」を開始しました。当コースの2年目、2017年度研修に参加したチリのエイホ真由美さんから自宅パソコンへeメールが届き、「自分の和菓子店を開店した」との朗報が舞い込んできました。彼女のアクションプランでは「2020年に自分の和菓子店を開業する」としていたので、前倒しの実施でもあり、嬉しい気持ちから即刻、お祝いのメール送信をしました。

2017年11月に実施した日系研修「和食ビジネス振興コース」を回想してみますと、研修員は、南米5か国（アルゼンチン、コロンビア、チリ、ブラジル、ペルー）から6名が参加しました。エイホ真由美さんは、紅一点で他の研修員とも和気藹々で非常に研修を楽しんでいました。特に、和菓子に関しては大学卒業後、京都の和菓子店で1年半の住み込み修行をしており、「和菓子の拡大」という明確な目標をもっていたことで研修には大変熱心で、常時、目が輝いていたことを思い出します。

今回送られてきた写真を拝見しますと自分の店の名前を「SAKUMU（作夢）」とし、自分の夢を実現したとの気持ちを表したネーミングと推察します。また、和菓子の「和」を意識して、店全体に和を基調としています。入口の暖簾は、富士山と鶴のデザイン、勿論、和菓子も繊細でカラフルであり彼女の細やかな和心を感じます。そして、彼女の笑顔には店を持った満足感に満ち溢れています。

私は、彼女からの報告を通して、コースリーダー冥利に尽きますし、日系社会へ多少なりとも寄与できたことの満足感、幸福感を覚える次第です。

4. エイホ真由美さんからのお便り



2018 年 11 月 4 日

三木様

おはようございます。

エイホ真由美です。

私は、去年の 11 月に「和食ビジネス振興」の研修に参加しました。

この度、お知らせがあります、カフェを開くことが出来ました。

JICA と KITA の支援のお陰で私の夢が叶うことができました。

研修で学んだことがとても役に立ちました。JICA と KITA にとても感謝しています。

まだ夢の途中ですが、頑張ります！

次のメールで他の写真を送ります。

ありがとうございます。

よろしくお願いします。

エイホ真由美





研修が終了した時にエイホ真由美さんが発表したアクションプランです。クリックしてレポートをご一読下さい。

以上